

超音波探傷試験 II 問題集 2019 正誤表 (Ver. 9)

2021 年 10 月 1 日

頁	章	行, 問題番号	誤	正
9	2	問 2.1.4	ρ : 比重	ρ : 密度
18	2	問 2.3.3 問題文	次の文は, 斜角探傷における試験体裏面の 角部 での反射損失の・・・	次の文は, 斜角探傷における試験体 裏面 での反射損失の・・・
41	2	問 2.5.27 問題文	・・・小数点以下第 2 位を四捨五入せよ。	・・・小数点以下 第 4 位 を四捨五入せよ。
			・・・探傷面の伝達損失及び底面での反射損失をそれぞれ 2.5dB/回, 1.2dB/回とすると・・・	・・・ 探傷面及び底面 での反射損失をそれぞれ 2.5dB/回, 1.2dB/回とすると・・・
41	2	問 2.5.28 問題文	・・・STB 音速比が 3 % 程度 の・・・	・・・STB 音速比が 1.03 程度 の・・・
47	2	上 13 行目	2.3.3 d	2.3.3 c
47	2	上 14 行目	2.3.7 c	2.3.7 b
47	2	上 14 行目	2.3.8 c	2.3.8 d
100	4	上 1 行目	問題文 次の文は, JIS G 0801 で規定する・・・	次の文は, JIS G 0584 で規定する・・・
110	4	下 3 行目	4.4.1 a	4.4.1 b
141	5	問 5.4.3	問題文 JIS G 0801 の適用範囲は, 原子炉, [1] 及び圧力容器などに使用する厚さ 6mm 以上の高品質 [2] 鋼板 (ただし, ステンレス鋼を除く) の超音波探傷検査方法について規定している。 [2] a) リムド b) キルド c) セミキルド d) フェライト	JIS G 0801 の適用範囲は, 原子炉, [1] 及び圧力容器などに使用する厚さ 6mm 以上, 300mm 以下の炭素鋼又は合金鋼 (ただし, ステンレス鋼を除く) の 鋼板に対する自動又は手動による超音波探傷検査方法 について規定している。 解答群 [2] 項を削除
145	5	下 5 行目	5.4.3 [1] c [2] b	5.4.3 [1] c =[2] b
183	6	下 6 行目	6.5.16 c	6.5.16 a
186	7	問 7.1.5	b) STB-A2 の $\phi 4$ mm, 深さ 4 mm のエコー高さより 6 dB 低いエコーまでを検出している。	b) STB-A2 の, $\phi 4 \pm 4$ mm ($\phi 4$ mm, 深さ 4 mm) のエコー高さの - 6 dB を超えるエコー を検出している。